

令和2年度地理空間情報産学官中国地区連携協議会（概要）

中国地区における地理空間情報の効果的な活用推進を目的に「令和元年度地理空間情報産学官中国地区連携協議会」（以下、「連携協議会」）を開催したので報告する。

1. 開催概要

本年度はオンラインによる参加も含めて下記の概要で開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえて、書面による開催とした。

- (1) 日時 令和2年11月30日（月）13：15～16：15
- (2) 場所 広島合同庁舎第1号館附属棟2F 共用大会議室
- (3) 出席 23名

産業界 日本測量協会中国支部、全国測量設計業協会中国地区協議会、
学界 広島修道大学、広島工業大学、山口大学、島根大学、岡山大学
官 国土交通省中国地方整備局、農林水産省中国四国農政局、鳥取県、
島根県、岡山県、広島県、山口県、岡山市、倉敷市、広島市
事務局（中国地方測量部）
部長、次長、地理空間情報管理官

(4) 議事

1. 地理空間情報の利活用について

- ①UAVレーザー測量を用いた3次元点群データ作成及び利活用について
一般社団法人全国測量設計業協会中国地区協議会
(株)荒谷建設コンサルタント 計測情報部 越智貴政
- ②国土地理院の地図等の利用手続き
国土地理院地理空間情報部情報企画課長補佐 田山直規
- ③質疑応答
- ④GISの構築や活用について（国縣市からの報告）
- ⑤意見交換

2. その他

- ①今後の活動方針（案）について（国土地理院中国地方測量部）

2. 主な報告事項

(1) 地理空間情報の利活用について

- ①産業界として、株式会社荒谷建設コンサルタントより、UAVレーザー測量を用いた3次元点群データの作成及び利活用について資料提供がされ、地形データ取得には作業効率や安全性に有効であることが示され、紹介動画にアクセスもでき視覚的に分かりやすい資料の報告がされた。
- ②国土地理院より令和元年12月に実施された地図の利用手続きについて改正の内容、手続きに関するポイントについて等の報告がされた。
- ③国土交通省中国地方整備局、農林水産省中国四国農政局、各県市よりGISの構築や利活用に関する報告がされた。
- ④資料に対して以下の意見があった

- ・UAVによる3次元測量は今後ますます増加すると考えられる、国土地理院として、適用プロジェクトにより要求測量精度が異なると思うので、要求精度（地理院地図などとの整合性）に関する議論を開始する必要があるように思えます。
- ・測量成果はできるだけ安価に公開する方向で検討をお願いしたい
- ・古地図の解像度アップがあるとうれしい
- ・UAVレーザー測量について、産業界における実施事例が豊富になり様々なノウハウが蓄積されていくことを期待しています。
- ・地理院における地図等の利用手続きについて、申請条件が緩和されることは地理空間情報の利用促進の面からも望ましいことであると思います。
- ・今回は非開催で残念でしたが、今回の様に、多くの行政機関からご報告頂くことで、相互の情報共有が図られ、各機関での地理空間情報の利用の向上につながると良いと思います。

(2) 今後の活動方針（案）について

事務局より、次年度についても引き続き地理空間情報に係る現状や課題について、連携協議会で共有を図り、もって、地理空間情報の効果的な活用を推進することを目的に連携協議会で地理空間情報の効果的な更新及び利活用について意見交換等を行うことが提案され、書面にて了承された。

3. まとめ

本連携協議会は、中国地区における地理空間情報の効果的な活用推進を目的に設置された。この連携協議会により中国地区の地理空間情報の活用推進のための具体的な動向・施策の情報共有が広く図られるようになった。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により書面にての開催となった。今後はインフラ分野のDX（デジタル・トランスフォーメーション）も推進されることから地理空間情報の重要性は増すものと考えられる。

今後さらなる連携協議会の目標の達成のため、産学官それぞれの中で取り組む情報を共有し、地理空間情報の利活用をさらに発展させていくことに取り組んでいく予定である。